

料金別納郵便



十六代 坂倉新兵衛 展

令和8年9月11日(金)~16日(水) 会期中無休

開廊時間：午前11時~午後7時(最終日16日は午後5時まで)

作家在廊日：会期中、全日在廊予定

陶歴 昭和58年 山口県生まれ 父は十五代坂倉新兵衛
平成21年 東京藝術大学 彫刻科 及び 大学院 彫刻専攻 修了
平成23年 京都市伝統産業技術者研修 修了
平成29年 ディスカバリーチャンネル「明日への扉」出演
平成31年 ブレイク前夜(BSフジ)出演
令和2年 初個展(柿傳ギャラリー)
令和6年 十六代 坂倉新兵衛を襲名
令和7年~襲名記念展を全国各地にて開催中

坂倉は、令和6年 十六代 坂倉新兵衛を襲名し、いまも全国で襲名記念の展覧会を開催中だという。その襲名展の記事を読むと「萩の伝統土に自身が採した土を配合し、新しい萩焼の景色を創出したいと試行錯誤を重ねている」とあり、「ここ近年、土の力をどう引き出せばいいのかを考え、一つ一つの素材のパワーを引き出せるようになった気がする」と語っている。さらに、茶盃には真面目な轆轤成形のもの、造形性の強いものと二つのタイプがあり、萩の土では出せない景色にも挑戦している。この《茶盃》は轆轤成形の碗成り茶盃で、萩焼の景色の一つである片身代わりのような窯変を見せている。十六代は東京藝術大学 美術学部 彫刻科を卒業しているので、造形力は確かだが、何と言っても感性がいい。遺伝子研究の村上和雄氏によれば、人間の感性や行動はほとんど無意識の影響を受けており、98%の潜在能力が秘められているという。襲名記念展を境に、十六代の感性に増々研ぎがかり、その可能性は無限に広がっていると言ってもいい。

森孝一(美術評論家・日本陶磁協会 常任理事)

柿傳ギャラリー
KAKIDEN GALLERY

公式Instagram



160-0022 東京都新宿区新宿3-37-11 安与ビルB2階
03-3352-5118 gallery@kakiden.com



